

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2007-503978(P2007-503978A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-524658(P2006-524658)

【国際特許分類】

**B 05 C 3/09 (2006.01)**

【F I】

B 05 C 3/09

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月23日(2007.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワークピースがコートされるコーティングチャンバと、  
コーティング溶液を前記コーティングチャンバに供給するコーティング溶液供給容器と、

前記コーティングチャンバと前記コーティング溶液供給容器とを流体接続して、前記コーティング溶液を、前記コーティングチャンバと前記コーティング溶液供給容器との間で流動可能にする流体接続部と、

を有し、前記コーティング溶液供給容器が、変形可能コーティング溶液供給容器、気密封止されている変形可能供給容器、体積を減少させることができる供給容器および折り畳み可能コーティング溶液供給容器のうち少なくとも1つである、コーティング溶液でワークピースをコーティングする装置。

【請求項2】

前記コーティング溶液供給容器が、手動操作によって、変形、体積減少または折り畳みされるよう構築されている、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記コーティング溶液供給容器が、前記コーティング溶液が前記コーティングチャンバに流れるようにする、前記コーティングチャンバに対して第1の高さに配置可能である、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記コーティング溶液供給容器が、前記コーティング溶液が前記コーティングチャンバから前記コーティング溶液供給容器に流れるようにする第2の高さに配置可能である、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

前記コーティング溶液供給容器を、変形させ、体積減少させまたは折り畳んで、前記コーティング溶液を前記コーティングチャンバへ移動させる原動力を与え、且つ前記コーティング溶液を前記コーティング溶液供給容器へ流し戻すことを許容する機構を更に有する、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

前記機構が、前記コーティング容器供給容器を保持する保持チャンバであって、この保

持チャンバに流体圧力が供給され、前記コーティング溶液供給容器に適用されて、前記コーティング溶液を前記容器から前記コーティングチャンバへ流す保持チャンバを有し、かつ流体圧力の減少によって、前記コーティング溶液が、前記コーティングチャンバから前記コーティング溶液供給容器へ流れることを許容される、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記機構が、前記コーティング溶液供給容器の外側表面に力を加えて、前記コーティング溶液を前記容器から前記コーティングチャンバへ押すプレートを有し、前記プレートは、前記コーティング溶液が前記コーティング溶液供給容器へ前記コーティングチャンバから流れ戻るよう戻すことができる、請求項5に記載の装置。

【請求項8】

前記流体接続部と協働して、前記コーティング溶液供給チャンバから前記コーティングチャンバへの流れを制御する弁機構を更に含む、請求項1に記載の装置。

【請求項9】

気密封止されているコーティング溶液容器と、  
コーティング溶液と、  
ワークピースがコートされるコーティングチャンバと、  
前記気密封止されているコーティング溶液容器と前記コーティングチャンバとを流体接続させる流体接続部と、  
を有する、ワークピースにコーティングを与えるためのキット。